2007 年度

科目名	対象学科・学年	担当者
ゼミナールⅡ	教育教福４回生	田中（たなか） 孝治（たかはる）

授業テーマ

・絵画表現及び副論文作成を通し、内観を進め自己表現をはかる。

授業の概要と目標

・ゼミナールⅠからの研究趣旨を生かし、絵画制作を主とする卒業研究（制作と副論文）を進める。主体的・継続的な研究姿勢で、生涯にわたる自己教育力の基盤を確立する。なお卒業研究では、卒業制作として油彩画Ｆ６０号作品を完成させ、併せて、「絵画による自己表現の意義について」を研究主題とする副論文（原稿用紙20P 程度）を作成し、提出する。

・ゼミでの学習交流をもとに、生涯の「学友」の絆を深める。

評価方法

①毎回の出席・研究態度、②学習成果と自己評価、③油彩画作品評価、④副論文評価、等により総合的に行う。

テキスト	著者	出版社
・なし（担任作成の学習資料を、適宜提供する）。		

参考書	著者	出版社
・適宜紹介する。		

授業スケジュール・内容

１．年間ゼミ学習計画と学生生活の設計
２．絵画の分析的考察と表現　・形と色彩、遠近感
３．　〃　・質感や量感、ムーブマン
４．　〃　・主題と構図
５．　〃　・油彩の特徴と様々な表現方法
６．「絵画制作」の仕事と自己実現
７．「絵画表現」と卒業研究の意義
８．「自己探究」と「主題（モチーフ）」
９．副論文作成の意義と構成
１０．卒業制作　「表現主題」を決める
１１．　〃　「表現の構想」をまとめる
１２．　〃　「表現の構成・構想」を練る
１３．副論文の構成を考える
１４～１５．副論文作成のための資料収集
（特講）写生実習（2 泊３日）油彩風景画（Ｆ８号２枚）制作
１６．卒業制作（油彩画Ｆ60 号）制作開始　副論文作成開始
１７～１８．　・描き出し作業
１９～２１．　・描き込み作業①　副論文１次提出
２２～２４．　・描きこみ作業②　副論文２次提出
２５～２７．　・仕上げ作業　副論文完成・清書
２８．卒業制作完成・提出、相互鑑賞・評価　副論文本提出

※　写生実習（2 泊３日）を授業２回に換算し、年間 30 回の授業とする。
※　卒業制作作品は、①学内（志学館）　②大阪市内画廊　で展覧する。